

「クラスのフィールドとアクセッサ」

クラスの設計時に注意すべきこととして、“フィールド(データメンバ)は、必ず非公開(private指定)にする”という原則を忘れてはいけません。フィールドを公開にしまうと、クラスの外部からそのフィールドにどのような値が代入されても、その代入値が適正な値かどうかをチェックすることができません。

どうしてもクラスの外部からフィールドにアクセスさせたいければ、フィールドの値を設定したり、参照したりする専用のメソッドを用意しましょう。このようにもっぱらフィールドへのアクセスを担当するメソッドを、一般にはアクセッサ(accessor)と呼びます。

たとえば、

```
class A {  
    private int i; // 非公開  
    void seti(int i) { this.i = i; }  
    int geti() { return i; }  
}
```

のseti()やgeti()はiへのアクセッサです。アクセッサを用意すれば、フィールドの値を設定するようなアクセッサの中で、設定しようとしている値が適正かどうかを検査することができます。